

「産業社会と人間」シラバス

学科	総合学科	学年	1 年	類型		組	7 組	単位数	2
使用教科書	産業社会と人間ノート								
副教材等									

1 学習の到達目標

① 体験学習やディベート活動を通して、進路決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要なコミュニケーション能力を養う
② 自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を身に付ける。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	体験学習やディベート活動を通して、進路決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要なコミュニケーション能力を身に付けているか。	(1) (3) (4) (6)
思考・判断・表現	体験学習やディベート活動を通して、進路決定に関する課題を発見し、将来の進路実現に向けて自分自身で考えようとしているか。	(1) (3) (4) (6)
主体的に学習に取り組む態度	自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。	(1) (2) (4) (5) (7)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)授業中の活動状況 (2)自己評価の実施	
課題などの提出状況	(3)ノートのまとめ方 (4)課題等の提出状況	
言語活動の観察	(5)ディベートへの取組状況	
社会人活用事業	(6)レポートの提出 (7)活動の取組状況	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価 項目
一 学 期	人生をどう生きるか 1 産社について 2 職業について I 3 ライフプラン	・職業の種類とその特徴に関する正しい知識を身に付け、希望する職業に就くために必要な個々の過程を理解する。 ・進路などの将来を考えるにあたり、必要な情報を収集する技能を身に付け、それらの情報を整理・分析・選択・活用する。	(1)(2) (3)(4)
二 学 期	働く人に学ぶ 地域に学ぶ 1 生き方について I 2 職業について II 3 地域について	・進路などの将来を考えるにあたり、必要な情報を収集する技能を身に付け、それらの情報を整理・分析・選択・活用する。 ・講演、見学、実習等の様々な活動に関心を持って意欲的に参加する。	(1)(2) (3)(4) (6)(7)
三 学 期	自己を表現する 1 生き方について II 2 まとめ	・調査、研究、ディベート等の様々な活動を通して、現在の社会情勢について考え、自分に何ができるか、どう行動するべきかについて判断する。	(1)(2) (3)(4) (5)

備考